

薄根支部がつどい

困ること① 消費税の大増税

日本共産党薄根支部は4日、恩田町内で「生活と政治の話をするつどい」を開きました。薄根支部から穂苅勝代さん、ご近所からご婦人2人、井之川博幸市議が参加しました。

最初に志位委員長の演説ダイジェストDVDを視聴した後、日本共産党の対話用チラシを参考にして懇談をしました。

Yさんの一番困ることは、「消費税の大増税、生活が大変なのに増税は困る」。日本共産党の「消費税増税しないで、社会保障の充実・財政再建が出来る政策」を議論。富裕層や大企業に応分の負担を求めることが話題に。今度の選挙で日本共産党が伸びれば「増税中止に」に大きな期待が。

困ること② 施設の入所費用

2人のご婦人が共通して訴えたのは、「年取って施設（特養など）に入る費用が高くて困る」ということ



特別養護老人ホーム花の苑

でした。「国民年金ではとても間に合わない、月15～20万円位かかってしまうので、結局こどもの負担になる」ということでした。

井之川博幸議員は市に助成を要求

井之川博幸議員は、3月議会で「特養やグループホームの利用料は、国民年金ではとても間に合わないので、結局入ることが出来ない。差額は市で助成すべき」と市長に要求しました。

市長は、「特養の標準では月128,730円、グループホームの標準では109,950円」と述べ、国民年金では間に合わないことを認めましたが、助成については、「今後



井之川博幸市議

3ha(沼須工業団地)は売れたが 5haは塩漬け

沼須の土地改良事業で創出された「非農用地」3haを市のスポーツ団地に、5haを県の住宅団地に…が、3haが産業団地、5haがスポーツ用地に変更され、3haは利根中央病院の新病院建設用地として売れました。しかし、5haの土地は、市の野球場とテニスコートをつくる計画をたて4億6千万円で買い取りましたが、計画は財政難で頓挫し、荒地のままです。



3haの産業団地

現在、この土地の利活用をめぐる、市では担当を教育委員会から市長部局に変更し、検討しているとのこと。しかし、市議会の中では、「メガソーラの基地」になどの声があがっています。



5haの空地2段目

現状をよく見ると、片品川に向かって3段になっており、それぞれ利用できそうです。一番下の段にはテニスコートだけでも整備できそうな気がします。大金をかけずに出来ることからやってみれば、と思います。

新宿区と災害協定締結

沼田市は10月30日、「新宿区と沼田市との災害時における相互援助に関する協定」を締結しました。

平成7年11月に姉妹都市の静岡県下田市、平成20年8月に東京都板橋区他12市町との締結につづき3例目となります。

2012年11月11日	No.633
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	